

／＼
暫くは目にわかる機会のないところ残念に思っております
八月二十日東寮の現状を拜見して、私達七名東寮に参り、
室長及び桃井事務長に面会を申さしめ、室長は休暇
中桃井氏は食食のため不仕とのこと、やあを得ず東寮に向て
歩いて行きましたら、何と桃井氏が現場から出てこられたので
、これはいと現場に入らずに済みました。

お断りしておきます、私達は無断侵入でなく、桃井氏の配慮に
より、取壊し現場を見ることになり、早急にとることをか
らうたのです。

寮周囲の大半は竹に伐採され、命を失った無惨に積み重ねられ

いまして。

さらに無惨なりたのは審会で窓枠内のかう久は引きはがされ窓枠自体
や扉も運びだされ南部屋の内壁も、おさねて瓦礫の山、天井はあき
れし内側をさうけられ、おさねに半死半生凄惨をあまりない光景
をしいた。

しかし、私達をけしめし悲しみ難くするために来たのではありません。

東京の崩壊は悲しあへることです。ここは展開された東京を大史
の東大原丁史の一面を見届けにきたのです。入る前に挑井氏に
尋ねましたら「佐東にはあるが複雑な心持です」といわれ
審判内部の机、引本し、やバーラーの一部を保存すべく努力すると

確認されました。

私はここに到つても車庫が保存できなかつたこと

を納得しない

というところを申しあげた上で、バーナーの暖房、欄間、

作りつけの椅子等は是非保存しておきたいと申しあげました。

この間の各各で井氏か古川氏と冷然と見捨てるのが多く

その価値を認めず保存の意を失つてお持ちと伺い、その点を多くと

ーたいと思ひました。しかし全面保存と一部保存では意味が全く

違うことはたしかです。例え、唐招提寺を壊し、西尾と校の二部

と図面と模型を残しと保存とはいえず、それでは極めと限定の

意味が一部でも保存できねば一失ものではないかと。得にはどうしよう。

建築の内部及び外側を歩き、すなわち破壊された屋根と胸痛を思ふが

見あげ、つまみすの感をも持つことかできました。

間くとうにすると翌日車乗りともに車客は破産家であることが、
一とわかれ二十日、まさに臨終するの姿をこの眼で確かめるわけ

車女レーモンド金に入つて、この社会を辞たことを生涯の思い出と

一とわかれとありうす。主事や、原田、高田、学長と五人が、この

夫妻を眺め即感をもつたものと思ひます。困みをおとすやうな

眺め、車客の五層、白い壁は明日までの命とり和らぬめけに夏の陽を

浴びていましめ。

(静かに)

さて、車客の山崩壊です。が、終つたわけはありません。残された

いくつもの問題とお話があります。

- ① 東家にある塔を残すといふが、アーカイヴとして活用してゐるわけない
 のということです。新校舎建築のついでに外へ出てゐるものが、その
 可能ではなからうか。保存が可能なものは、福敷の古門家に引き
 継ぎといふと、その結果を公表してゐるわけかとはいへない。もし塔
 が残るなら、拾いだした御座る御座る結果立てるとか、バーナード・ヘン
 リーの館かと思ふた。各々あるもの、大分「歴史」や「ア」を
 引き継いでゐる。私も、知人の文化財保存の専門家に、東家も東女
 房も、物産も、すべてとらわねばならぬ。保存が可能なものは、
 川島会か、或いは有志が、保存のための新しい委員会をいかに？、
 ② 作り物は、是非保存して下さる。東家らしい一史を持つ建物であ

この日を生きて、この世を所用しあうものも三階から昇見する
 まるく保えるものがあるように、新校舎の下の体育館の別の
 用途に使うなら、保固には費用がかかるのかもしれない。保固は
 丁度を持つ。保固は、お金の支払いと痛みです。高松保
 のある所に保固は大きなものがある。お金の支払いと痛みは、
 高い。短い丁度のアメリカと、日本の書いにはここにありあり
 この建物は、保固は高しき。金銭に保固は、有形と無形
 への指定を。

③ 保固のあるレーセント屋の九月すまゐ。新築の近き、保固
 で始まる。海外メンバーを含む、関係者のうち者。

あるのと思われまうが、その場合は校内訪問を要のされたい
なきてるレーモンド建築とを古きの方よりアール・デコとい
うように。

なお、物にせよ、房子代表不存の間の代表代行がある
ません。しりし金の張りの人として、東京^が止めと別にある

あの日布有な税金と保まらうか、お持ちとお預けを申し
あける方がある。

東京レーモンドの会

あさきと お待り 申しあげまう
、永井 隆子

理事長
、原 田 明 夫 様

、の事務局 渡 辺 昌 子 様
、原田様の内別紙に おまかせいたしまう